

生徒指導部

部長：福原 副部長：山本

(1) 今年度の目標

- ①人格のより良い発達をめざし、自律的な生活態度や好ましい人間関係を育てる。
- ②規律ある学校生活を送ることにより、社会規範や法秩序を尊重する精神を培う。
- ③交通ルールを守り、事故防止、自他の安全の確保を徹底させる。

(2) 主な取り組みの計画

- ①ア：全校集会で講話を行い、自主的・自律的な生活態度を育成する。
 - イ：校門指導を行い、挨拶がしっかりできるように声掛けをする。
 - ウ：生徒が安心して学校生活を送れるよう、「学校生活に関するアンケート」調査の実施や面接週間時に担任より悩み事を聞いてもらい、いじめ等の実態を把握する。
- ②ア：全校集会で講話を行い、自主的・自律的な生活態度を育成する。
 - イ：校門指導や集会時に服装検査を行い、服装の整備を図る。違反者に対しては事後指導を行う。
 - ウ：遅刻生徒に対しては早朝登校指導を行い、基本的な生活習慣を身に付けさせる。
 - エ：週番活動を活性化させ、環境の整備と基本的な生活態度を育成する。
 - オ：講演会（情報セキュリティ、薬物乱用防止）を行い、規範意識の向上を図る。
- ③ア：全校集会で講話を行い、自主的・自律的な生活態度を育成する。
 - イ：校門指導時に交通指導を行い、事故防止を図る。
 - ウ：自転車点検の実施や交通安全教室、HRでの交通指導を行い、交通ルールの順守や交通マナーの育成、自転車事故の防止を図る。
 - エ：警察と連携し月1回の朝の街頭指導を行う。

(3) 成果

- ①・全校集会での呼びかけ等により、挨拶ができる生徒が増えてきた。
 - ・「学校生活に関するアンケート」の実施回数を年1回から学期毎の年3回としたことで、早期に対応できた事例があった。
 - ・自分から悩みを打ちあけにくい生徒にとって、担任と話ができる良い機会となった。
- ②・校門指導やその後の担任・生徒指導部による事後指導で、服装違反（名札・校章等のつけ忘れ）や遅刻などが改善された。
 - ・全クラスの意識を高めるために、週番交代会に全校週番だけでなく全クラスの学級長（1名）を集合させ、全校で意識を高めることができた。

- ・出会い系サイトなどの有害な情報にアクセスして事件に巻き込まれるケースやわいせつ画像の送信、SNS上での誹謗中傷などの問題が全国的に多発している中、外部講師による具体的な講演により、規範意識の向上が図れた。
- ・現在週番生徒や学級長が中心となって、携帯電話・スマートフォン等の使用上のルールをつくっている。次年度にはそのルールを全校生徒に提示できる。
- ③・改正道路交通法についての説明や懇談時に保護者用資料を配布、また全校集会で、県内の高校生の交通事故件数や本校生の交通事故の事例を挙げて交通事故防止の方策を具体的に指導したことで、年度当初から重点的に指導してきた自転車の左側通行が定着してきた。
- ・車が停止して横断をさせてあげると、会釈をする生徒が増えた。

(4) 課題とそれに対する次年度以降の改善策

- ①・教員から声をかけないと挨拶をしない生徒や挨拶をしても黙っている生徒がいる。またお年寄り専用の優先席に平気で座るなど、規範意識に欠けた生徒もいる。生徒指導部による呼びかけだけでなく、クラス担任や授業担当者、部活動顧問らの協力を得ながら、挨拶や規範意識（マナー）について粘り強く指導をていく。
- ②・女子のセーター違反（カーディガン着用）や校舎内でのマフラー着用生徒がいる。違反者に対して生徒指導部だけでなく、全職員でその場その場での指導を行っていく。
- ・出会い系サイトなどの有害な情報にアクセスして事件に巻き込まれるケースやわいせつ画像の送信、SNS上での誹謗中傷などの問題が全国的に多発している。本校においても例外ではないので、引き続き外部講師を招いての講演会を実施したり、情報担当の先生と連携を図り、授業の中でもインターネット犯罪の被害者・加害者にならないための指導を行う。また、携帯電話・スマートフォン等の使用（購入時におけるフィルタリングの設定等）や情報モラルについて、保護者にも協力をお願いする。
- ③・一時不停止等、本人の不注意による自転車事故が増えているので、外部講師を招いての交通安全教室や交通安全に関するHRを実施し、交通安全に対する意識の高揚と交通規則の理解を図る。
- ・自転車通学者だけでなく徒歩通学者も含め、並列で登校している生徒がいる。交通ルールと交通マナーを徹底させるために、毎月実施している校門指導の立哨場所を見直し、服装だけでなく交通指導にも力を入れる。
- ・クラスの交通委員の活動が年度当初の車体点検や駐輪場の整備だけになってしまっているので、交通安全に対する呼びかけや鑑札・施錠の有無、指定された場所以外の駐輪車を定期的に調べさせるなど、年間を通じての役割を与える。
- ・警察側の都合で3回しか合同の街頭指導が行えなかった。来年度は今年度以上の実施ができるよう、引き続き警察側に協力をお願いする。